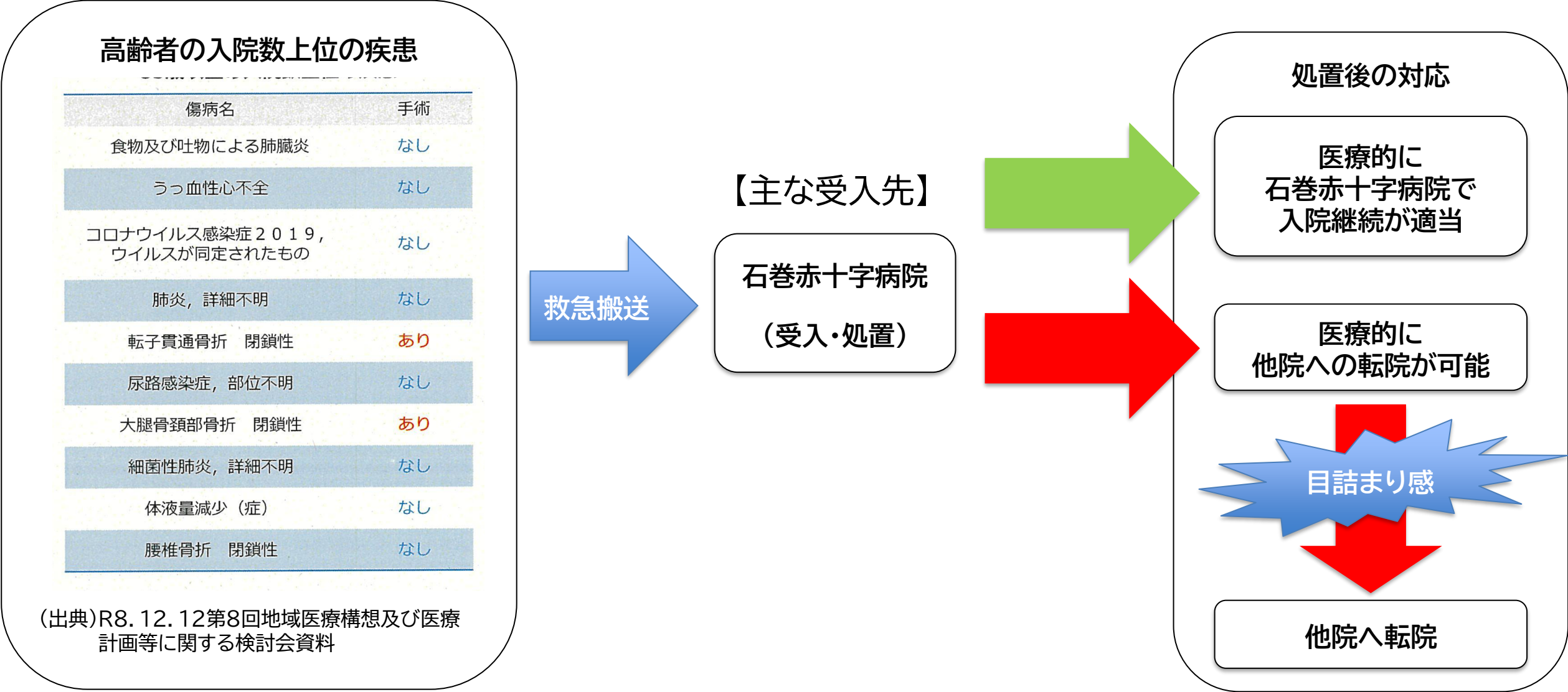


# 石巻地区における高齢者救急に係る転院調整について

## ○ 現在の対応状況について



### 課題等

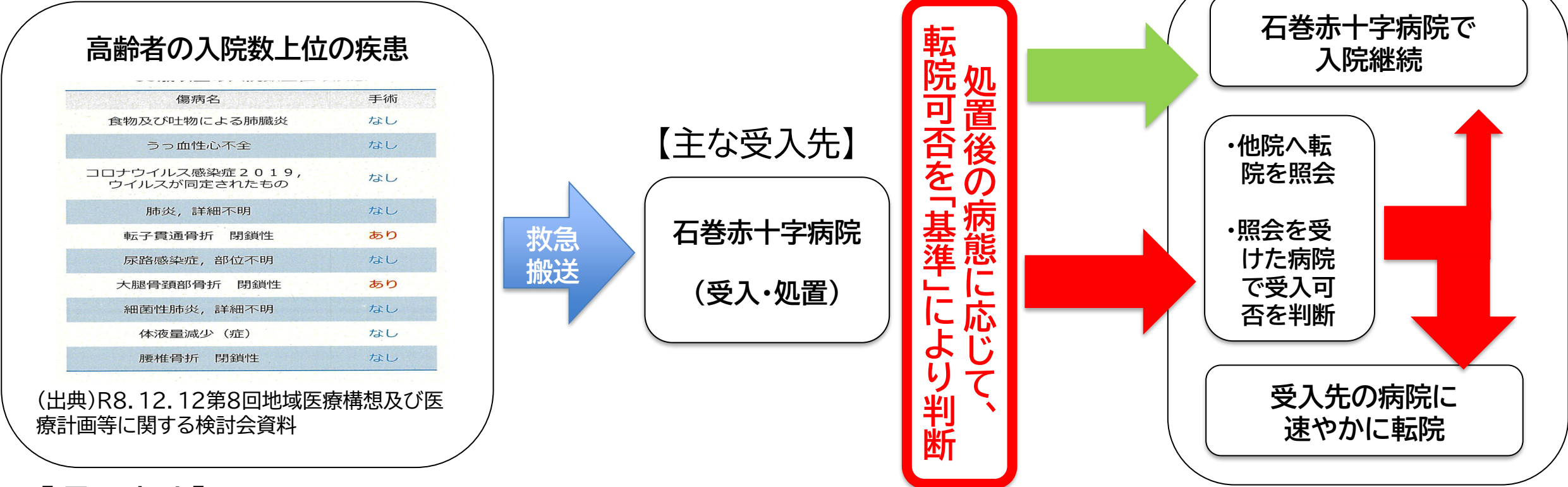
- (石巻消防)このような疾患の救急搬送先としては、石巻赤十字病院が選定されることが多く、その他病院は石巻赤十字病院対応不可の際にお願いしている。
- (石巻赤十字病院)・一部疾患(肺炎や心不全)は地域内の医療関係者間でネットワークを構築し、円滑な転院を含めて、病態による役割分担を進めている。
- ・医療的に転院可能であっても、転院先の病棟の状況や患者が抱えている社会的背景(独居など)により、当院での入院を継続している場合がある。

# 石巻地区における高齢者救急に係る転院調整について

## 1 共有したい方向性

石巻圏域内の病院の機能分化・連携を進め、「1つの病院」のように機能させることで、効率的に医療を提供する

## 2 将来的な転院調整のイメージ



### 【運用方法】

- ・石巻赤十字病院(石巻市立病院、仙石病院等)において、医療的な観点から、「基準」により、「入院継続」と「転院」のどちらが適当か判断する。→(1次的判断)
- ・転院が適当と判断した場合は、「基準」において、事前に病態ごとに定めた転院先に、受入可否を照会する。照会を受けた病院においては、「基準」に基づき受入を要請されていることを念頭に、自院の人員体制等を考慮した上で、受入可否を決定する。→(2次的判断)

## 3 本地域における取組の提案

石巻圏域の転院調整の円滑化のため、地域内の各医療機関の関係者が集まって、「高齢者の入院数上位の疾患」(例)ごとに病院間で共有する「基準」を策定することを検討してはどうか？

将来の展望 取組の成果については、石巻モデルとして他地域に展開し、高齢者救急の課題解決につなげる。



○ 将来的には、「医療機関機能報告」に基づいた役割分担に繋がっていきたいと考えている。

令和7年10月31日地域医療構想及び医療計画等に関する検討会（一部改）

## 急性期・救急医療の役割分担について（イメージ）

- 多くの医療資源を要する手術等について、集約して対応する中で、都市部を中心とした高齢者救急の増加分については、高齢者救急・地域急性期機能を有する医療機関で担うことが考えられる。
- 地域ごとに、医療資源に乏しく、急性期拠点機能を有する医療機関で増加する高齢者救急への対応が必要なケース等も考えられ、手術や救急搬送等の医療需要の変化に関するデータを踏まえながら、手術等の役割分担や救急搬送先について協議が必要。

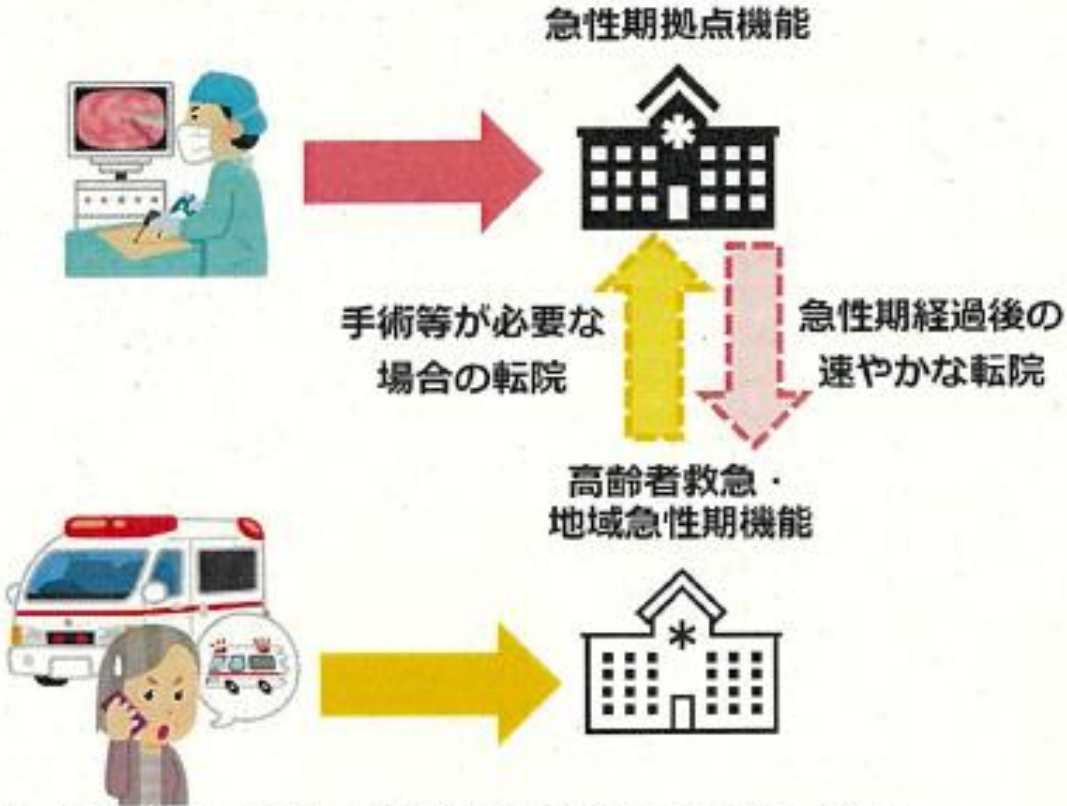
### ● 急性期拠点機能と高齢者救急・地域急性期機能における、手術等と高齢者救急の分担のイメージ

手術等の分担

・医療資源を多く必要とする、手術等について、緊急手術等は急性期拠点機能で受け入れる一方、高齢者に多い手術等は高齢者救急・地域急性期機能でも提供する

増加する高齢者救急の受け入れの分担

・高齢者救急は、高齢者救急・地域急性期機能を中心としつつも、医療の需要等を踏まえながら必要に応じて急性期拠点機能も高齢者救急の受け入れを行う



※大都市などにおいて手術等を高齢者救急・地域急性期機能で実施することや、急性期拠点機能において、増加する高齢者救急の需要にも対応することも考えられる。